

第6学年 社会科学習指導案

日時 平成16年 10月 1日(金) 5校時

児童 6年2組 男子18人 女子12人 計30人

指導者 宮古市立山口小学校

教諭 川上孝悦

1 単元名

「新しい日本の国づくりを見つめよう」

2 単元について

(1) 教材観

第6学年の目標は、国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味と理解を深めるようにするとともに、わが国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てる。にするとある。また、内容には「わが国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自らの歴史的背景、わが国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。」とある。本単元関わっては、明治中・後期から大正期における、大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約、科学の発展などの歴史的な事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、わが国の国力が国際的地位が向上したことが分かるようにすることをねらいとしている。

本単元の導入は、明治維新という政権交代の面ではなく、文明開化という具体的で親しみやすいから入る。近代日本の歴史は、世界の歴史の動きと密接不可分で、この時代は、日清・日露戦争に象徴されるように後の時代に続く「戦争の時代」の端緒となり、また、近代国家の体制が整い、国際社会での地位が向上していった時代である。こうした時代の中で、国民の生活はどうなっていったのか、はどのような意識をもち、何を求めたのかなどについて学んでいくことができるようにしたい。子ども性、アジアの人々の視点からの資料も意識的に取り入れ、国内外の人々の歴史として、問題の追及していきたい。

(2) 児童観

子供たちは一昨年、4年生のときに創立百周年を迎えている。その際、学習の中で100年前の暮らについて、学校の変遷などとあわせて学習した経験がある。本単元は江戸時代の後、急激に欧化が歴史的な転換期であり変化も大きい。江戸時代との比較や現代との比較を通して興味を持って追及していくことができると考える。

また、これまでの学習の中で、資料集やインターネットなどを利用して子供たちは考えのよりどころの資料の大切さを実感してきている。しかし資料からの読み取りについては、絵や写真資料に表されることについて、見出すことは積極的に取り組み意欲的に発言できるが、そのことからいえることを表現したり、そこから読み取る背景を言葉で表現したりということは難しさもあり幾分消極的な面が見られる。

(3) 指導観

本単元で扱う近代の歴史は、政治や経済の状況、国際関係、社会の変化とそのどれを取っても複雑急速な展開を見せるのである。ここでも具体的な事例、資料に基づいた学習展開を心がけていく。近代の歴史を学ぶ難しさの中にあっても、文明開化は、衣食住や学校など、子どもにとって身近な視点から調べ、考える学習が展開できる内容である。また、日清・日露の戦争以降の学習で地域の戦没者の記録や墓石、時代背景の理解に資する文学・芸術作品、新聞の記録など、子どもが調査し易い一次資料もある。

日本の国が近代化をすすめる中で、世の中の様子や人々の暮らしがどのように変化していったか、その光と影の部分にも目を向けながら、進んで調べ多面的に考えることができるよう指導を進めたい。

また、地域に残る歴史的資料の活用や聞き取り調査などに意欲的に取り組み、当時の日本やアジアの人々の暮らしや願いについて考えるようにさせたいと考える。

今年（2004年）は日露戦争開戦（1904年）からちょうど100周年にあたる年であり、インターネットのホームページ上では当時すなわち明治37～38年のロイター発の記事や当時の国内の日露戦争関連の記事を紹介しているページもある。宮古市は近代の始まりにあって宮古湾海戦（1869年3月25日）といった史実もあり、一般の人々の生活が戦争と無縁ではいられないことは想像に難くない。また、本校の学区にある山口地区は、明治の文豪の徳富蘆花が世に出した「寄生木」の原作者小笠原善平（日露戦争第三軍司令官乃木将軍（1849-1912）のもと203高地に着任。）の出身地である。（寄生木は当時、漱石の「坊ちゃん」をしのぐこともあった。学区内には寄生木（やどりぎ）公園が旧山口小学校の跡（現山口公民館）近くにある）したがって多くの犠牲を出した日露戦争と宮古市が無縁ではなかったことも明確に理解されうると考える。

また、6月に行われた修学旅行ではレンガ造りの岩手銀行旧本店や県公会堂など明治時代から残る建物を目にする機会もあった。雨の中の見学となったが岩手公園には日露戦争で亡くなった南部利祥（第42代当主）の銅像が今は台座だけであるが残されているのを目にしたグループもある。盛岡市の高松の池の桜は日露戦争の戦勝記念の植樹である等々、修学旅行での経験も想起させながら、できるだけ身近な資料に基づいた学習を心がけていきたいと考える。

子供たちにとって社会の学習はこれまで「日本の国づくり」を中心に扱っており、大陸文化との交流・交易という認識はあっても、国際社会について本格的に学習していくのは本単元が始めてである。

産業革命以後の西洋列強のアジア進出や当時のアジア諸国の政情などについて学ぶのは中学以降であり指導内容を精選するように心がけたい。

指導内容の精選と合わせて、中心資料の選択と取り扱い、提示方法について吟味し、問題解決型の指導過程を取るよう努めたいと考える。

3 単元の目標

- (1) 近代的な国づくりを進める中で、日本と周囲のアジアの国々との関係、国内の人々の暮らしの様子がどうなっていくのかを調べようとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 日本が東アジアの国々と戦争を繰り返さなければならなかったわけや、人々が民主的な権利を求めて立ち上がっていった経緯について考える。 (社会的思考・判断)
- (3) 当時の人々の意見や活動のスローガンなどの意味を読み取りながら、それぞれの立場にたった自分の考えを表現する。 (観察・資料活用の技能・表現)
- (4) 日本の近代的な産業発展と国際的地位向上のかけには東アジアの国々との戦争や、国内の民主的な政治の実現を求める人々の動きがあったことがわかる。 (知識・理解)

4 単元指導計画と評価基準 (総時間数 12時間)

時数	【中・小単元名】 学習のねらい	心社会的意欲・事象への態度・関	断社会的な思考・判	技能・表現・資料活用の	観察・資料活用・理解	社会的知識・事象について	sidou 評価基準	資料
1	【オリエンテーション】1時間 【暮らしの変化を探そう】 絵図を読み取りながら、文明開化の様子を具体的に捉え、開港当時の絵図とも比較しながら、人々の暮らしの変化に気づくことができるようにする。					絵を見ての話し合いから、新しい世の中がどのようなものなのか、人々の暮らしがどうなったのかに関心を持つ。	絵をもとに、江戸時代との違い、変化を具体的に捉えることができたか。	横浜各国商館真図 (比較 神奈川横浜新開港図)
2	【新しい時代の幕あけ】5時間 【学校ができた】 学校と教育の変化を中心に、新しい時代になって人々の暮らしや産業がどのように変化していくかについて学習課題を設定する。					学校制度の変化とその影響を、時代背景の中で捉える。	文明開化の様子を前の時代からの変化という観点でおさえる。	寺子屋と小学校 図 鉄道・富岡製糸場図 東京高輪真景蒸気車鉄道の図(1873.2) 1
1	【西洋に追いつけ】 明治政府の政策を調べるを通して、新政府がどのような国づくりを目指したのかを考え、その特色をつかむことができるようにする。					新政府の進めた諸改革の目的と内容について理解し、その特色をまとめる。	新政府の進めた諸改革について調べ、人々の願いや生活と関連付けて考える。	
	【国会を開け】 西南戦争や自由民権運動の高まりについて調べ、人々が政治に対してもっていた願いを考えるとともに大日本帝国憲法制定の過程とその内容についてとらえる。					大日本帝国憲法の特色をつかむ。	自由民権運動が高まった理由を考え国民の政治に対する願いを捉える。	民権運動関連資料 2 3 4 五日市・大日本帝国憲法条文
本時1	【二つの戦争と日本・アジア】5時間 【日清・日露の戦い】 戦争の経緯とその背景にある国際状況を調べながら、日本とアジア諸国との関係の変化について学習課題を設定することができる。					経緯や背景を調べるとともに、二つの戦争によって朝鮮や国民の生活がどのように変わっていくか課題を持つことができる。	本文や地図や絵、グラフなどを利用して、観点に即して調べることができる。	ビゴー作「釣りの会」
1	【戦争のかげと朝鮮併合】 戦争によって日本や朝鮮の人々の暮らしはどうなったのか考える。					戦中や戦後の様子から、国内の人々の思いや願いを考えることができる。	中国や朝鮮半島は、戦場や植民地となり、大きな犠牲を強いられたことに気づくことができる。	3.1記念レリーフ図 タブコル公園風景
1	【不平等条約を改正せよ】 条約改正までの経緯を調べ、日本が国際的な地位を高め、国力を充実させていったことに気づく。					条約改正までの経過を調べ改正に至るまでには、長い期間と陸奥宗光、小林寿太郎等の多くの人々の努力が必要だったことに気づくことができたか。	ノルマントン号事件と不平等条約の関係について、かんがえることができる。	ノルマントン号風刺画 5
2	【豊かで平等な社会を目指して】 産業が発達し、人々の暮らしが向上するに従って、差別の撤廃や女性の地位向上、普通選挙の要求など民主主義を求める運動が盛んになってきたことを理解する。					繊維工業や重工業が発達してきたことや、民主主義を求める運動が盛んになってきたことがわかる。	選挙権の移り変わりを調べて年表にまとめる。	八幡製鉄所写真拡大 グラフ 選挙権比率 6 7
1	【暮らしの変化をパンフレットにまとめよう】1時間 江戸から明治・大正煮かけて大きく変わった事柄やものをテーマに両者を比べパンフレットを作る活動を通して、時代の変化をとらえることができるようにする。					暮らしの変化に興味を持ち、自分が関心のあるテーマを調べて調べることもできたか。	暮らしの変化がわかるように、工夫してパンフレットを作ることができたか。	

1 <http://www.meijimura.com/>

2 http://www.sing.co.jp/link/syakai/rekisi8_link.html

3 <http://www.minken.city.kochi.kochi.jp/>

4 <http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~tamura/jiyuuminnkennundou.htm>

5 <http://rokuou.cs.cside.com/sub215-2hantihankai.htm>

6 <http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/kids/>

7 <http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~tamura/sennkyokennkakudainorekisi.htm>

<http://www.sankokan.jp/exhibition/gallery/121.2.html>

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~kida2366/norumanton.htm>

5 本時の指導

(1) 目標

関心・意欲・態度

- ・風刺画を元に国際状況を考えたり進んで発表したり話し合ったりすることができる。
- ・教科書や資料をもとに二つの戦争について、観点にしたがって調べようとするすることができる。

思考・判断

- ・日清・日露戦争の経緯とその背景にある国際状況を調べながら、日本とアジア諸国との関係の変化について学習課題を設定することができる。

(2) 評価基準と判断基準

評価の観点	判断基準	A: 十分満足できる	B: おおむね満足できる	C: 努力を要する子への支援
社会的事象への関心意欲態度 資料や教科書から読み取ったことを進んで発表することができる。		資料や教科書から読み取ったことを進んで発表することができる。	風刺画を元に、それぞれの立場に立って考えようとする。 観点に沿って調べ、整理してノートにまとめようとする。	友達の発表を聞いて、賛成や共感をしている様子を捉え、発言を促す。
社会的な思考・判断 2つの戦争の経緯とその背景の国際状況を探る。 日本とアジア諸国との関係の変化について学習課題を設定することができる。		経緯や背景を調べるとともに、二つの戦争によってアジアの国々や国民の生活がどのように変わっていくか課題を持つことができる。	いくつかの観点について自分の力で調べることができる。	観点につながる文末表現に着目させ、読み取らせる。

(3) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点・支援	用意する資料
たてる 10分	<p>ビゴー作「釣りの会」の風刺画を見て、近隣諸国との関係を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣り人や魚は何をしているのだろう。 ・それぞれの国がどのような考えを持ちどのようなことをしようとしているか読み取る。 <p>課題設定</p> <p>日本が、中国(清)やロシアと戦った日清・日露の戦争について調べよう。</p>	<p>予想を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風刺画に描かれている人物と国をしっかりと捉えさせる。 ・(噴出しを提示し)それぞれの人物(国)の考えを想像させ発表し合う。 	<p>風刺画拡大図 (1882年 訪日 フランス人 ビゴー作)</p> <p>風刺画 噴出し</p> <p>学習プリント</p>
追求する (15分)	<p>調べる 調べる観点を確認し、自分で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ ・背景(何のために) ・経過(経緯や 主な戦場) ・結果(どちらが勝ち、何を得たか) その他 わかったことや思ったこと <p>全体で話し合い まとめる</p> <p>日清戦争</p> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮での勢力争い(支配) <p>経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮 農民の反乱 ・清の援軍 日本出兵 ・戦場 朝鮮と清(中国) <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾を領土 ・莫大な賠償金 ・清に朝鮮の独立を認めさせた。 <p>日露戦争</p> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満州に力をのばそうとして <p>経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦場 満州(中国の東北部) ・リュイシュン(6万人死傷) ・日本海海戦 <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講和条約(1905・ポーツマス) ・樺太の南半分 ・鉄道や鉱山の権利(賠償金なし) 	<p>教科書のみで一通り調べられることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料となる地図やグラフを提示する。 ・列ごとに日清から調べるグループと日露から調べるグループとに指定する。 <p>全体で読んでから調べる。</p> <p>支援(日清) 支援(日露)</p> <p>机間巡視をして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中「日本は清を破り…」に着目し結果を捉えさせ整理してまとめさせる。 ・日清日露戦争の図中、戦場の印がどこの国にあるか考えさせる。 ・本文中「日本はさらに…しようとしてロシアと…」に着目し背景を捉えさせる。 <p>全体で話し合う中で、背景、経過、結果について整理するとともに、地図やグラフと呼应させながら具体的なイメージや事柄を付加させていく。</p> <p>日本海海戦や日露戦争で、ヨーロッパの強国を破ったという歴史的出来事という認識を持たせたい。</p> <p>日清戦争に比べ日露戦争の戦死者がずっと多いことなどに気づかせることから、日本の国民の暮らしの変化について課題を持たせる。</p> <p>(ポーツマスの内容については別冊の資料内に掲載があるが)</p>	<p>日清日露戦争の戦場(地図)</p> <p>日本の戦死者(グラフ)</p> <p>日本の戦費(グラフ)</p> <p>・満州国と日本(地図P82)</p> <p>・東郷ピール(ピン)</p>
まとめる (10分)	<p>まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は(大国に勝利する)ほど力をつけてきた。 ・朝鮮や満州(アジア)に勢力を広げた。 <p>今後の学習の見通しを知る</p> <p>アジアの人々や日本の国民の暮らしの変化について、学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治や国民の暮らしはどのようなのだろう。 ・戦争によって日本とアジアの関係はどのように変わっていくのだろう。 	<p>後の条約改正とのつながりを意識したまとめにする。</p> <p>二つの戦争の影響を考え、これからの学習の見通しを持たせる。</p> <p>日露の戦争と関わりで宮古市・盛岡など身近なところとの関わりについても調べていけるよう興味をもてる資料を提示する。</p>	<p>写真等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(宿生木) ・高松の池 桜 ・岩手公園 台座

M . H	S . M
N . S	O . A
O . Y	K . Y
H . Y	N . K
K . N	N . E

M . K	O . Y
S . T	O . K
O . T	T . K
S . H	W . M
A . M	T . T

N . K	S . A
O . S	S . K
A . Y	M . M
K . S	H . N
M . H	T . Y

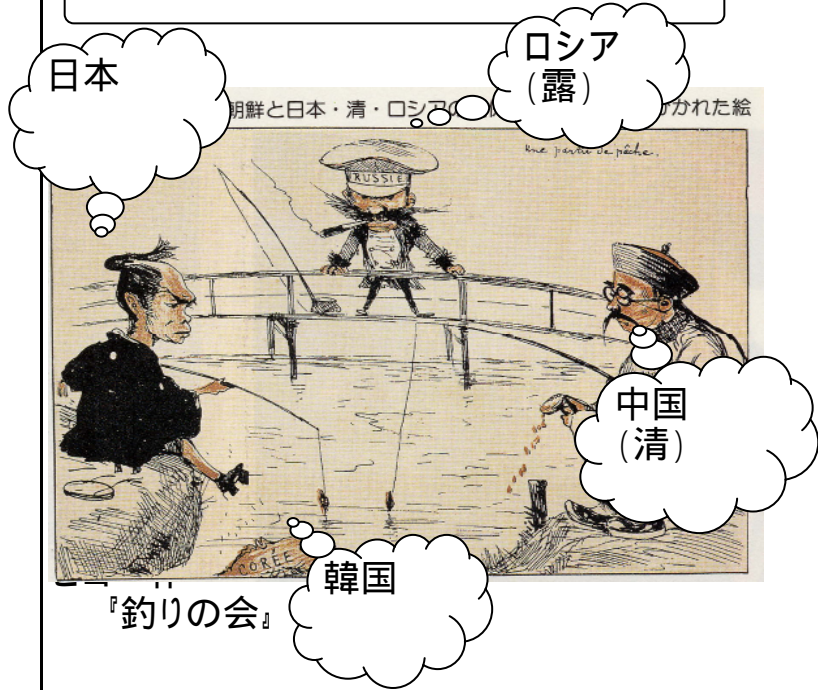
教 卓

黒 板

(4) 板書計画

新しい日本の国づくりを見つめよう

2 二つの戦争と日本・アジア



日本が中国(清)やロシアと戦った
日清・日露戦争について調べよう。

日清戦争
1894年

背景
・朝鮮に勢力をのばす

経過
・農民の反乱
・清の援軍・日本も出兵
・朝鮮と中国を戦場にした

戦死者
・約18000人

結果

・台湾を領土
・莫大な賠償金
・清に
朝鮮の独立を認めさせる
(下関講和条約)

戦死者
・約86000人

戦費
・国家予算の6倍

日露戦争
1904年

背景
・満州に勢力をのばす

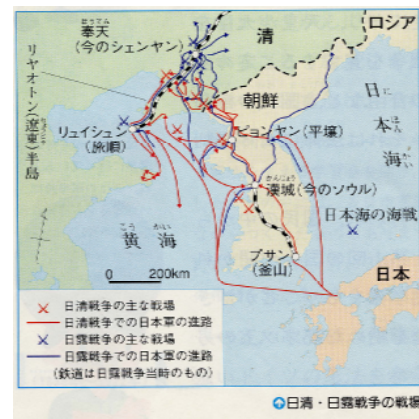
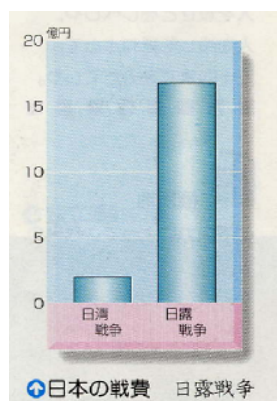
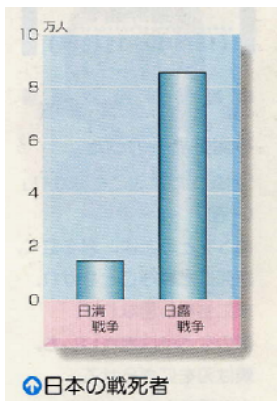
経過
・満州(中国東北部)が主な戦場
・リュイシュン(6万人死傷)
・日本海海戦 東郷平八郎 ロシアを破る

まとめ
日本が力をつけてきた。(追いついてきた)
日本は朝鮮の支配を強めた。
(台湾や満州、樺太など)領土をひろげた。
戦争によって多くの人々が戦死した。

結果

・樺太の南半分
・鉄道や鉱山の権利
・賠償金なし
(ポーツマス条約)

次時課題
国内の政治や国民の暮らし
日本とアジアの関係



課題

日清戦争はどんな戦争だったのだろう

いつ

□□年

はいけい

背景...

(なぜ対立したか)

けいか

経過

朝鮮では どんな人 が なにを を起こした。

朝鮮政府は どこの国に に援軍を求めた。

日本も直ちに出兵し日清戦争が始まった。

地図から

主な戦場は どこの国 と どこの国

結果...

(得たもの や 認めさせたこと)

・ みと を認めさせた。

その他 日清戦争についてわかったことや感想など

まとめ

日露戦争はどんな戦争だったのだろう

いつ

□□年

はいけい

背景...

(なぜ対立したか)

けいか

経過

主な戦場は

・なかでも激しかったのは どこの国 の戦い。

日本海海戦では

グラフから

戦死者は

結果...

(日清と比べながら)

その他 日露戦争についてわかったことや感想など

名前

それぞれの人物は、どんなことを思っているのだろう。
ふきだしに書き込んでみよう！

朝鮮と日本・清・ロシアの関係をふうしてえがかれた絵

